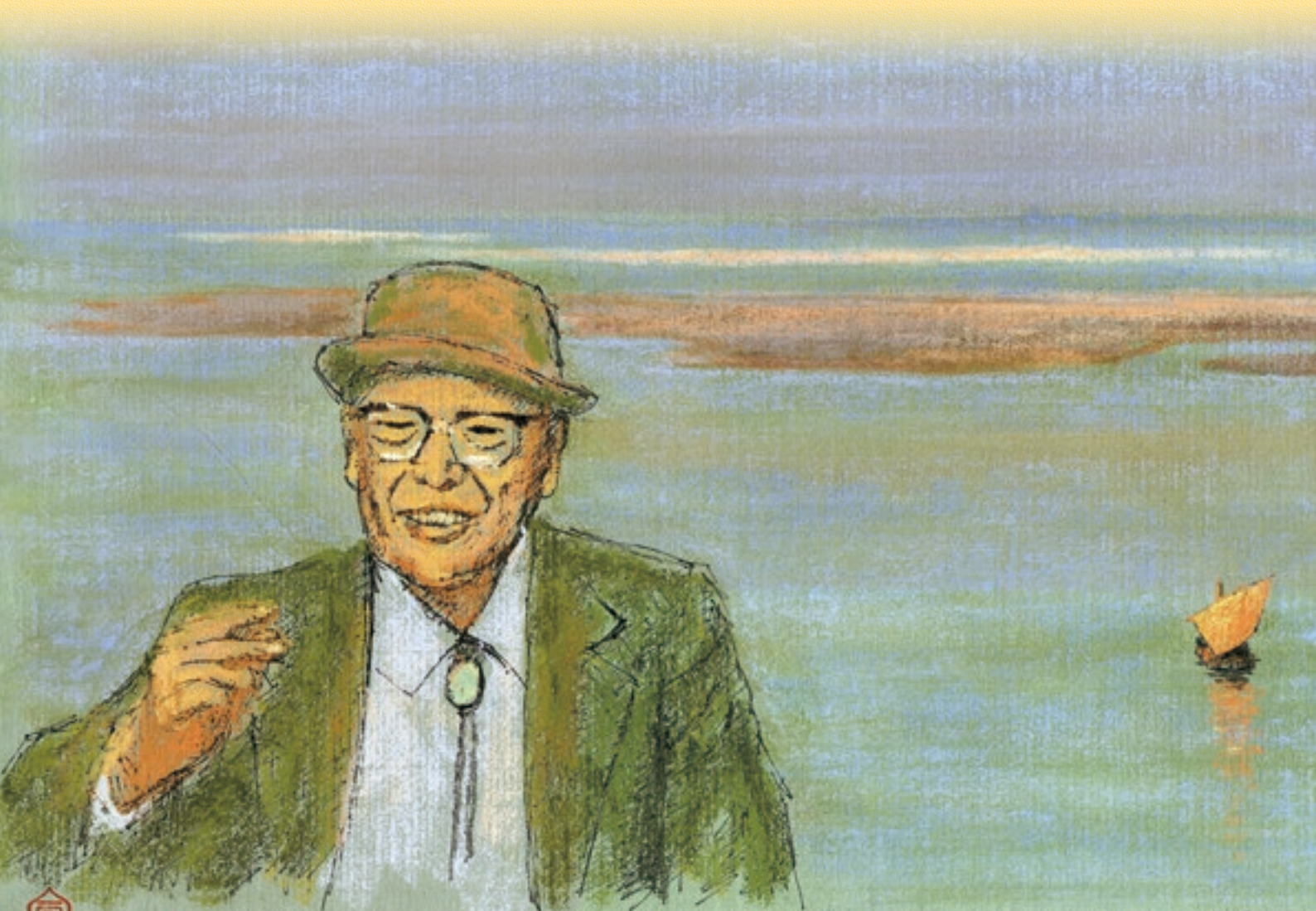


東方学院松江校 中村元記念館文化講座

受講の手引き



東方学院

理念

〈人間〉の回復をめざし
財団法人東方研究会を母胎として
ここに『東方学院』を開設しました。
『東方学院』は本学院の理想に賛同する学者個人と
そのもとで学ぼうとする学徒とによって構成される
共同体としてのグループの連合です。
〈個人指導の場の共同体〉とでもいふべきものをめざしています。

The Toho Gakuin (The Eastern Academy) was established
with the hope of contributing to the restoration of human integrity.
This Academy is a cooperative body of various academic communities
of scholars and students wishing to learn,
in which scholars provide personal guidance to the students.
Above all, our aim is to have this Academy be the rallying point
for students and scholars.

東方学院松江校の運営は特定非営利活動法人中村元記念館東洋思想文化研究所が行います。

目次

東方学院 理念	2
ごあいさつ・東方学院松江校とは	4
中村元記念館 各講座受講のご案内	6
受講料金表	7
中村元記念館 2021年度講義一覧	8
東方学院松江校 講義案内	10
中村元記念館文化講座 講義案内	25
2021年度 東方学院松江校・中村元記念館文化講座 年間スケジュール	30
各講座へのお申込みのご案内	32
2021年度 東方学院松江校・中村元記念館文化講座受講申込書	33
中村元記念館東洋思想文化研究所研究員募集	35
中村元記念館ボランティアサポーター募集	35
オンライン(ZOOM)講座について	36
アクセス	37

表紙絵：
中村元先生とガンガー（バトナ）
—行きゆきて 流れながれて
やがてガンガーサーガルに至る—
画：石川 響

慈しみ

一切の生きとし生けるものは
幸福であれ 安穩であれ 安楽であれ
一切の生きとし生けるものは 幸であれ
何びとも他人を欺いてはならない
たとどこにあっても
他人を軽んじてはならない
互いに他人に苦痛を与える
ことを望んではならない
この慈しみの心づかいを
しっかりと たもて

中村元訳 ブッダのことば

中村 元

(1912~1999)



インド哲学・仏教学の世界的権威であり、比較思想学の開拓者。1500点を超える膨大な著作・論文を発表し、我が国における思想研究の分野を大きく発展させた。従来のセクショナリズムにとらわれない壮大な世界思想史を構築し、その業績は海外でも高く評価されている。

大正元年島根県松江市に生まれ、東京帝国大学でインド哲学を学ぶ。同大学名誉教授。昭和45年財団法人東方研究会（現公益財団法人中村元東方研究所）を設立。昭和48年東方学院を設立し、学院長に就任。昭和49年紫綬褒章、昭和52年文化勲章受章。平成元年松江市名誉市民。

主な著書に『広説佛敎語大辞典』（東京書籍）、『初期ヴェーダーンタ哲学史』（岩波書店）、『東洋人の思惟方法』シリーズ、『インド史』（春秋社）、他多数。

ごあいさつ



東方学院長
前田 專學
（公益財団法人中村元東方研究所理事長・
中村元記念館館長）

平成24年10月10日、私の長年の夢でありました恩師中村元先生の記念館が、大根島の中心に開設され、平成25年4月には、この記念館に東方学院松江校が、東京の東方学院本校と緊密な連携のもとに、開校されましたことは私の最大の喜びです。なぜなら大根とは、ものの根本中の根本、すなわち中村元の元を意味し、将来中海・宍道湖圏域の連携・発展の根本となり、元となり、中村元記念館と松江校がその象徴となることを願っているからです。

中村先生ご自身の書齋、毎日お使いになった34,000冊のご蔵書、その他数々のご遺品とともに、先生はこよなく愛された生まれ故郷の松江に帰ってこられました。先生は、一人でも多くの方々がこの記念館に集い、先生が開拓された学問の道歩み、東洋の思想と文化の精華を吸収され、さらにそれを広く発信し、世界の平和と繁栄に貢献されることを願っておられるにちがいません。

東方学院には報酬の有無を度外視して教えたいという意欲的な先生方にお集まり頂きました。当学院に入学するのに、年齢も性別も学歴も職業も問いません。唯一必須の入学条件は勉強に対する強い意欲です。それ故に東方学院では受講生とは言わず、研究会員と申します。一人でも多くの研究会員のお出でをお待ちしております。

東方学院松江校とは

老若男女を問わず、誰もが東洋思想について学べる場所
——それが東方学院です。

東方学院は、インド哲学・仏教学の世界的権威である故中村元博士によって、1973年に財団法人東方研究会（現 公益財団法人中村元東方研究所）を母胎として設立されました。

「真に教えたい一人と、真に学びたい一人が集まれば学院は成り立つ」という中村博士の理念に基づき、学問のセクショナリズムにとらわれない現代の寺子屋として、東京本校・関西教室・中部教室で、多くの人々が東洋思想について教え、学び、日々研鑽を深めています。

そして平成25年4月、中村博士の出身地、島根県松江市の中村元記念館に東方学院松江校が開校されました。

「心の時代」といわれる現代社会、多くの人々が「どのように生きるべきか」という問いを抱えています。中村博士は生涯、インド哲学や仏教をはじめとした東洋の思想を通じて、私たちの「生きる道」を説き続けました。

学問とは真理の探究であり、その扉はいつでも、誰にでも開かれています。

あなたも東方学院松江校で、奥深い魅力にあふれた
東洋の智慧を学んでみませんか？

◆ 東方学院の特徴

- ・ 真に学を究め、道を求めたい人々の学院です。学歴・年齢・職業・国籍・性別などを問いません。
- ・ 専門家のあいだの縄張り意識の無い学院です。だれでも自由に学問を延ばすことができます。
- ・ 講師と研究会員との人間的連絡が緊密です。講師は懇切に指導をいたします。同学の人々とながく協同することが可能です。
- ・ 各講師は奉仕的に指導をいたしますから、若干の分野においては、日本におけるどの大学よりもはるかに詳しい講義がなされています。
- ・ 従来の大学ではなされていないテーマで斬新な講義や実習指導がなされています。
- ・ 学問には熱意が最も大切です。したがって熱意のある方々はいつでも入学できます。
- ・ 東方学院の講義を受講される方を本学院では「研究会員」と称します。

◆ 東方学院設立の経緯と意義

東方学院は、創立者中村元の東京大学退官とともに、昭和45年11月に文部省より財団設立の認可を受けた財団法人東方研究会（現公益財団法人中村元東方研究所）を母胎として、昭和48年に設立されました。

その大きな動機は、当時、大学に吹き荒れた学園紛争にともない、学術的には減退傾向にあり、また精神的な砂漠化のさなかにあつて、学術的精神的な拠点となりうる、小さくともしっかりした学院をつくることにありました。そして学問の自由を制約することになる縄張り意識の強いセクショナリズムを廃して、真理探究を目的とする学問本来の姿を回復するためでありました。

大学の外につくることでセクショナリズムを脱し、またカルチャー・センターとも異なる一種の私塾、つまり現代の「寺子屋」として出発しました。真に教えたい一人と真に学びたい一人が集まれば学院は成り立つ—これが創立者・中村元の信念であり、まさに東方学院の原点といえます。

幸いにも、このような考えに同調し、協力を申し出る人々が集まり、学院は開講されました。狭いビルの一角を間借りし手弁当を持ち寄って、文字どおりの「寺子屋」が始まったのです。

しかし、財団の基盤を強固にし、学院を発展させていくためには、しっかりとした学問研究の場所を確保する必要がありました。そこで、創立者の私財をもとに、財団設立に協力して下さった篤志家の方々が、昭和57年「財団法人東方研究会強化募金運動」を開始されました。一高時代の同窓生（「昭8文乙クラス会」のメンバー）である中村敏夫弁護士をはじめとして、同じく星埜保雄、宇佐見鉄雄、倉知善一、新井正明氏らが発起人となり、その資金集めから場所の確保にいたるまで実に並々ならぬご尽力を下さいました。そのおかげで、諸方面から多数の賛同者・協力者を得ることができ、現在のこの場所を入手するにいたりました。東方学院は、これらの人々によって築かれた土台の上に、今日成り立っております。

以来、当学院は、優れた数多くの講師を迎え、多くの方々の善意と学問への熱意によって支えられ発展して参りました。

今後も創立者の遺志を継承し、初心を忘れることなく、ますます発展していきますことを心より念願しております。

財団法人東方研究会
名誉理事長 中村 洛子
(1919~2010)

※財団法人東方研究会は平成24年7月2日付けで、公益財団法人中村元東方研究所へと名称を変更しました。

中村元記念館 各講座受講のご案内

中村元記念館では、下記の講座を開講しています。

1. 東方学院松江校 (No.1-No.17)

受講するには、研究会員になる必要があります。

各講座の受講料は、7ページをご覧ください。

【研究会員について】

■年会費 3,000円

■会員特典

1. 東方学院松江校の各講座を受講できます（右表の受講料が別途必要です）。
2. 中村元記念館ミュージアムショップで販売する書籍を会員割引価格（5%OFF）で購入できます。
3. 中村元記念館で開催する有料のイベントに会員優待価格（20%OFF）でご参加いただけます。
4. 次年度の「受講の手引き」を差し上げます。

※オンライン講座について

遠方在住の講師による講座の一部はオンライン形式で行います。

中村元記念館の会場での受講、もしくはご自宅での受講のどちらかをお選びください。

（詳しくは、36ページをご覧ください。）

2. 中村元記念館文化講座 (No.18-No.22)

どなたでも受講できます。各講座の受講料をお支払いください。

（文化講座の受講生には、次年度の「受講の手引き」を差し上げます。）

※受講料早期納入割引特典

各講義とも、開校日の1週間前までにお申し込み・ご入金されると、受講料が1,000円割引になります。

（注1）お申込書の提出だけでは割引は適用されません。1週間前までのご入金が必要です。

（注2）東方学院松江校講座は年会費・受講料の両方の入金確認後に割引適用となります。

（注3）「中村元記念館 友の会」の制度は、2021年3月をもって終了させていただきました。

受講料金表

*年会費が必要






種別	NO	講義名	講師名	会員料金	
				会員料金	早割適用 (▲千円)
東方学院 松江校	1	歴史に学ぶということ！—その深さと厳しさ—	藤島 建樹	25,000	24,000
	2	キリスト教世界の歴史と思想 2021	笠原 愛古	13,000	12,000
	3	『無量寿経』・『観無量寿経』を読む	齊藤 舜健	20,200	19,200
	4	出雲学概論	藤岡 大拙	10,600	9,600
	5	入門 日本の仏像	的野 克之	10,600	9,600
	6	中村元『ブッダの生涯』講読	清水谷善暁	10,600	9,600
	7	ラフカディオ・ハーンの怪談再考 —「耳なし芳一」「雪女」を中心に—	横山 純子	10,600	9,600
	8	「絵本」で読む「大丈夫」という物語 ～「終末期医療」と「仏教」～	岡 宏	13,000	12,000
	9	聖徳太子という歴史情報	保坂 俊司	9,000	8,000
	10	身心を観察する—仏教瞑想の歴史的展開	蓑輪 顕量	9,000	8,000
	11	稲荷信仰と神仏習合	加藤みち子	9,000	8,000
	12	日本における「般若経」の受容とその歴史的展開	渡辺 章悟	9,000	8,000
	13	やさしい英語で『歎異抄』を読む	田中ケネス	5,000	4,000
	14	華嚴仏教入門	竹村 牧男	9,000	8,000
	15	仏教聖典へのいざない	釈 悟震	9,000	8,000
	16	『秘密集会タントラ』に学ぶチベット密教の基本構造	平岡 宏一	9,000	8,000
	17	特別集中講義「仏伝を味わう—少年時代・結婚・出家」	丸井 浩	9,000	8,000

*受講料のみ

種別	NO	講義名	講師名	一般料金	早割適用 (▲千円)
				一般料金	早割適用 (▲千円)
文化講座	18	初歩から初める仏像彫刻	石賀 善章	13,800	12,800
	19	コロナとペスト～カミュの『ペスト』とインド哲学	瀬古 康雄	10,600	9,600
	20	聞香体験 ～伝統芸道香道とは～	大谷香代子	10,600	9,600
	21	小さき神々と神楽～家守る神・崇る神～	中野 秋鹿	4,200	3,200
	22	チベット仏教求法僧・能海寛の仏教論文を読む	岡崎 秀紀	10,600	9,600

中村元記念館 2021年度講義一覧

東方学院松江校

No	講義題目	講師名	回数	オンライン 講義	日 程	時 間	開講日	詳細 ページ
1	歴史に学ぶということ！ —その深さと厳しさ—	藤島 建樹	15		2回/月 第2・4土曜日	10:30~12:00	4月10日	10
2	キリスト教世界の歴史と思想 2021	笠原 愛古	6		1回/月 第4土曜日	13:30~15:00 15:20~16:50 (6回目のみ)	4月24日	11
3	『無量寿経』・『観無量寿経』を読む	齊藤 舜健	12		2回/月 第1・3・5金曜日	13:30~15:00	4月30日	12
4	出雲学概論	藤岡 大拙	6		1回/月 第2週水曜日	10:30~12:00	5月12日	12
5	入門 日本の仏像	的野 克之	6		1回/月 第2週金曜日	13:30~15:00	5月14日	13
6	中村元『ブツダの生涯』講読	清水谷善暁	6		1回/月 第3週木曜日	15:20~16:50	5月20日	14
7	ラフカディオ・ハーンの怪談再考 —「耳なし芳一」「雪女」を中心に—	横山 純子	6		1回/月 第3・4・5日曜日	10:30~12:00	5月30日	14
8	「絵本」で読む「大丈夫」という物語 ～「終末期医療」と「仏教」～	岡 宏	6		1回/月 第4週水曜日	10:30~12:00	9月22日	15
9	聖徳太子という歴史情報	保坂 俊司	4		7月31日 8月 5日	13:30~15:00 15:20~16:50 13:30~15:00 15:20~16:50	7月31日	16
10	身心を観察する —仏教瞑想の歴史的展開	蓑輪 顕量	4		8月 1日 8月 2日	13:30~15:00 15:20~16:50 10:30~12:00 13:30~15:00	8月 1日	17
11	稲荷信仰と神仏習合	加藤みち子	4		8月16日 8月17日	13:30~15:00 15:20~16:50 13:30~15:00 15:20~16:50	8月16日	18
12	日本における「般若経」の受容と その歴史的展開	渡辺 章悟	4		9月18日 9月25日	10:30~12:00 13:30~15:00 10:30~12:00 13:30~15:00	9月18日	19

No	講義題目	講師名	回数	オンライン 講義	日 程	時 間	開講日	詳細 ページ
13	やさしい英語で『歎異抄』を読む	田中ケネス	2		10月 2日	10:30~12:00 13:30~15:00	10月 2日	20
14	華嚴仏教入門	竹村 牧男	4		10月25日 10月26日	13:30~15:00 15:20~16:50 10:30~12:00 13:30~15:00	10月25日	21
15	仏教聖典へのいざない	釈 悟震	4		10月31日 11月 1日	13:30~15:00 15:20~16:50 10:30~12:00 13:30~15:00	10月31日	22
16	『秘密集会タントラ』に学ぶ チベット密教の基本構造	平岡 宏一	4		11月20日 11月21日	13:30~15:00 15:20~16:50 10:30~12:00 13:30~15:00	11月20日	23
17	特別集中講義「仏伝を味わう —少年時代・結婚・出家」	丸井 浩	4		2022年 3月 8日 3月 9日	13:30~15:00 15:20~16:50 10:30~12:00 13:30~15:00	2022年 3月8日	24

※講義によっては日程の一部の週数が異なる場合があります。日程詳細は各講義案内のページをご確認ください。

※講義日は変更になる場合があります。休講、日程変更などの情報は、中村元記念館ホームページでご確認ください。

<https://www.nakamura-hajime-memorialhall.or.jp/>

※オンライン講義は、記念館またはご自宅で受講できます。ご自宅で受講される方は36ページをご覧ください。

※オンライン講義に「」がある講義について、講師はモニターでの参加になります。

中村元記念館文化講座

No	講義題目	講師名	回数	オンライン 講義	日 程	時 間	開講日	詳細 ページ
18	初歩から初める仏像彫刻	石賀 善章	8		1回/月 第3週土曜日	10:30~12:00	4月17日	25
19	コロナとペスト ～カミュの『ペスト』とインド哲学	瀬古 康雄	6		1回/月 第2週土曜日	13:30~15:00	5月 8日	26
20	聞香体験 ～伝統芸道香道とは～	大谷香代子	6		1回/月 第2週木曜日	10:30~12:00	5月13日	27
21	小さき神々と神楽 ～家守る神・崇る神～	中野 秋鹿	2		8月29日	13:30~15:00 15:20~16:50	8月29日	28
22	チベット仏教求法僧・ 能海寛の仏教論文を読む	岡崎 秀紀	6		1回/月 第4週土曜日	13:30~15:00	10月23日	29

東方学院松江校 講義案内 (受講料以外に年会費¥3,000が必要)

1 歴史に学ぶということ! —その深さと厳しさ—

【全15回】／開催方法：現地

ふじしまたて き
藤島建樹

大谷大学名誉教授
真宗大谷派圓浄寺住職



受講料 会員料金：¥25,000 早割価格：¥24,000 (納入期限：4月3日)

【日程】【全15回】 2回／月 第2・4土曜日
(4/10、4/24、5/8、5/22、6/12、6/26、7/10、7/24、10/9、
10/23、11/13、11/27、2022/2/12、2/26、3/12)

【時間】10：30～12：00

■受講に必要なもの

[テキスト] レジューメ配布

コロナウイルスに翻弄された1年がまだ続いています。有り難くない1年でしたが、これも後世の歴史に残る1頁となるでしょう。

先日、気分転換を兼ねて散策していて書店に立ち寄りしました。何気なく書棚を見ながら歩いていた時「シリーズ・中国の歴史」という書名が目にとまりました。普通の新書版でしたので危うく見逃すところでした。「中華の成立・唐代まで」との副題的に書かれた文字に引き寄せられ思わず手に取りました。国際状況のこともあって中国に関する警戒感だけでなく嫌悪感さえ語られる昨今です。中国史に関する出版物も非常に少なくなっていたことを憂いていたので驚いたのです。早速手に取り立読みを始めました。いきなり、「いま中国史をみつめなおすために—シリーズ・中国史のねらい—」との一文がありました。わずか2頁でしたが、この「中国史」のねらいが簡明に記されており、続いての2頁を使って、このシリーズが5冊編成であることと、各巻の分担範囲と地図が各1頁ずつ図示されていました。

要するに、王朝交代断代史観では見えない多元的な視野をもって中国の顔と姿に迫れる中国史を叙述したいとの意図が述べられていることに興味と期待を抱きました。

現在、全5巻が全て完成し手にすることができます。この最新刊である「中国の歴史」をテキストに新しい「中国史」を学び考え、意図されている「オリエント東方史」という発想に触れてみたいと思っています。

【参考書】

- 岩波新書 〈シリーズ中国の歴史〉1 「中華の成立 唐代まで」 渡辺信一郎著 2019
- 岩波新書 〈シリーズ中国の歴史〉2 「江南の発展南宋まで」 丸橋充拓著 2019
- 岩波新書 〈シリーズ中国の歴史〉3 「草原の制覇 大モンゴルまで」 古松崇志著 2020
- 岩波新書 〈シリーズ中国の歴史〉4 「陸海の交錯明朝の興亡」 檀上 寛著 2020
- 岩波新書 〈シリーズ中国の歴史〉5 「「中国」の形成 現代への展望」 岡本隆司著 2020

かさはらなるひさ
笠原愛古中村元記念館東洋思想
文化研究所 研究員
中央大学政策文化総合
研究所 客員研究員

受講料 会員料金：¥13,000 早割価格：¥12,000（納入期限：4月17日）

【日 程】【全6回】 1回／月 第4土曜日
(4/24、5/29、6/26、7/24、8/28、9/25)

【時 間】13：30～15：00・15：20～16：50（6回目のみ）

■受講に必要なもの

〔テキスト〕レジュメ配布

今年度は、キリスト教とその周辺にある歴史的思想的に形成された世界について焦点をあてていきます。具体的には、イエスやその他のユダヤ教徒に読まれていた「旧約」、イエス以後に成立し彼の弟子たちの言行録や書簡が含まれた「新約」、そして、それらがどのように読まれ解釈されてきたかを見ていきます。またキリスト教をモチーフとした「北欧」絵画（レンブラント等）や北欧文学（トーベ・ヤンソン等の作品）を紹介しながら、キリスト教世界への理解を深めることを目指します。

これまでの講義

2019年度 キリスト教世界の歴史と思想

（概要）中村元博士が不殺生の思想を見出された『聖書外伝 エッセネ派の平和福音書』の紹介をはじめとして、ヨセフスなどのイエスと同時代の歴史証言を参照しながら、原始キリスト教の歴史世界をみていきました。また現代につながるテーマとして、「一神教は排他的で、多神教は寛容」とする言説がもつ問題について、中村博士の「東洋思想全般の特徴の問題」や、歴史学分野における宗教的「寛容」についての論文なども確認しながら考えていきました。

（講義内で紹介した参考書）

大法輪閣編集部『徹底比較 仏教とキリスト教』大法輪閣、2016。

中村元『比較思想論』岩波書店、1960。

2018年度 歴史学入門～歴史的ヨーロッパの風景

（概要）思想史家である津田左右吉の「仏教史家に一言す」、「歴史の「学」に於ける人の回復」を導入として、いわゆる歴史的なヨーロッパ世界が歴史家によってどのように描かれてきたのか、ヘロドトスなどの古代の歴史叙述から近代歴史学の転換点となった大学の講義録などを中心に見ていきました。

（参考書）服部良久ほか編著『大学で学ぶ西洋史 [古代・中世]』ミネルヴァ書房、2006。

アラン・コルバン編（浜名優美ほか訳）『キリスト教の歴史—現代をよりよく理解するために』藤原書店、2010。

2017年度 「北欧人」あるいはヴァイキングの思惟方法

（概要）初年度は、日本ではヴァイキングとして馴染みのある「北欧人」（スカンジナビアの人々）の生活について、北欧の歴史資料から見ていきました。また日本における「北欧」受容史の一例として、中村元博士のヴァイキングに関する論考や、小泉八雲の講演録「古代北欧の生活倫理」などを読んでいきました。

（テキスト）イヴ・コア（久保実訳）『ヴァイキング 海の王とその神話』創元社、1993。

（参考書）B・アルムグレン編（蔵持不三也訳）『図説ヴァイキングの歴史』原書房、1990。

中村元『決定版中村元選集 インドと西洋の思想交流』春秋社、1998。

3 『無量寿経』・『観無量寿経』を読む

【全12回】／開催方法：現地

さいとうしゆんけん
齊藤舜健

浄土宗総合研究所
主任研究員
西方寺住職



受講料 会員料金：¥20,200 早割価格：¥19,200（納入期限：4月23日）

【日 程】【全12回】 2回／月 第1・3・5金曜日
(4/30、5/7、5/21、6/4、6/18、7/2、10/15、10/29、11/5、
11/19、12/3、12/17)

【時 間】13：30～15：00

■受講に必要なもの

[テキスト] レジューメ配布

我が国では浄土系宗派の信者が全仏教徒の約半数を占め、それらの浄土系宗派の多くは法然（1133-1212）から始まる。法然がその教えの根拠としたのが『無量寿経』『観無量寿経』『阿弥陀経』の三経典で、浄土三部経と呼ばれる。これらは中国の善導（613-681）や法然の理解を通すことで、わが国の浄土教・阿弥陀仏信仰の根元となった。信徒数の多さとあいまって、わが国の精神文化への影響は尽大なものといえよう。そのうち『無量寿経』には、阿弥陀仏が仏となった経緯、阿弥陀仏によって救われる理由などが述べられ、『観無量寿経』では阿弥陀仏の国土・聖衆の姿や、往生人たちのイメージ化などが述べられる。いずれも中国において多くの註釈研究があり、わが国でも伝来以後様々に理解されてきた。特に法然以後は浄土系諸宗派の宗義学の立場からの研究の積み重ねがあり、内容の理解はもちろん、語句や構文の理解に到るまで、宗義学的な裏づけ、後付の解釈が与えられている。その影響は極めて大きく、それらの理解を離れての読解は困難な点があるので、それらにも目配しながら、経典本文を読み進めて行きたい。

令和3年度は2年度からの継続で、『無量寿経』（疑惑往生の段）から読み始める。すでに読了した五悪段までを前提とするので、初回にはそこまでの内容を解説する。年度中に『無量寿経』は読了する予定なので、引き続き『観無量寿経』を読むことにする。

【参考書】

- ①書名：【現代語訳】浄土三部経 著者：浄土宗総合研究所 出版社：浄土宗出版社 2011
- ②書名：浄土三部経（現代語版）浄土真宗聖典 著者：浄土真宗本願寺派総合研究所
出版社：本願寺出版社 1996
- ③書名：浄土三部経 著者：中村 元、紀野 一義、早島 鏡正 出版社：岩波文庫 1990

4 出雲学概論

【全6回】／開催方法：現地

ふじおかだいせつ
藤岡大拙

NPO出雲学研究所理事長
荒神谷遺跡博物館館長
松江歴史館館長



受講料 会員料金：¥10,600 早割価格：¥9,600（納入期限：5月5日）

【日 程】【全6回】 1回／月 第2週水曜日
(5/12、6/9、7/14、10/13、11/10、12/8)

【時 間】10：30～12：00

■受講に必要なもの

[テキスト] レジューメ配布

古代出雲を中心に、出雲神話、神祇信仰、神社の実態、神仏習合過程等を述べ、続いて大和政権の支配下に入ってから出雲が、どのような歴史を辿るかを、伊勢と出雲の二極の相関関係の中で考え、現在の出雲のよって来たる歴史的因子を探りたい。

【参考書】

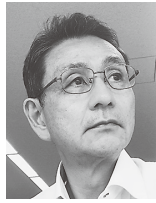
- ①書名：出雲人 著者：藤岡大拙 出版社：ハーベスト出版 2014
- ②書名：出雲国風土記 著者：加藤義成校注 出版社：今井書店 2015
- ③書名：神々と歩く出雲神話 著者：藤岡大拙 出版社：NPO法人出雲学研究所 2010

5 入門 日本の仏像

【全6回】／開催方法：現地

まとの かつゆき
的野克之

島根県立古代出雲歴史
博物館参与



受講料 会員料金：¥10,600 早割価格：¥9,600（納入期限：5月7日）

【日 程】【全6回】 1回／月 第2週金曜日
(5/14、6/11、7/9、10/8、11/12、12/10)

【時 間】13：30～15：00

■受講に必要なもの

[テキスト] レジューメ配布

寺院を訪れ仏像を拝観したときに、安置されている仏像の尊名（お名前）が分かりますか。その仏像の役割が分かりますか。この二つが分かっただけでも、仏像巡りが何倍も楽しくなります。

今回の講義では、まず主な仏像の尊名の見分け方をお話しし、それぞれの仏像の意味を解説します。さらに踏み込んで、その仏像がどのようにして造られたのか、いつ造られたのかを解説します。

仏像の前に立った時、その仏像の尊名、役割、技法、造られた年代が分かると、今までの仏像巡りとは違った楽しさを感じることが出来ます。仏像の基礎的な内容なので決して難しくありません。気軽に参加してください。

なお、本講義は2015年度に開講した「仏像 見分け方講座」と一部項目等が重なりますが、内容は全面的に改訂しています。

1. 仏像の尊名と役割（如来と菩薩）
2. 仏像の尊名と役割（明王と天）
3. 仏像の技法
4. 仏像のファッション（衣装とアクセサリ・ポーズとスタイル）
5. 仏像の歴史（飛鳥・奈良・平安前期）
6. 仏像の歴史（平安後期・鎌倉・室町・江戸）

※内容は一部変わる可能性もあります。

【参考書】

書名：ミズノ先生の仏像のみかた 著者：水野敬三郎 出版社：講談社 2019

6 中村元『ブッダの生涯』購読

【全6回】／開催方法：現地

しみずたにぜんぎょう
清水谷善 暁

特定非営利活動法人
中村元記念館東洋思想
文化研究所理事
公益財団法人中村元
東方研究所非常勤研究員



受講料 会員料金：¥10,600 早割価格：¥9,600（納入期限：5月13日）

【日 程】【全6回】 1回／月 第3週木曜日
(5/20、6/17、7/15、10/21、11/18、12/16)

【時 間】15：20～16：50

■受講に必要なもの（講義までにご用意ください）

【テキスト】講義までにご購入ください。

書名：ブッダの生涯 著者：中村元 出版社：岩波書店 出版年：2017

昭和60（1985）年4月から9月にかけて、NHKラジオ第二放送で中村元先生によって行われた全26回にわたる連続講義「こころをよむ／仏典」の活字化された「仏典をよむ」シリーズが、平成29（2017）年に岩波現代文庫から新たに出版されました。これにより、本シリーズの入手がより容易になりました。

本講義では、その「仏典をよむ」シリーズの第1巻に当たる『ブッダの生涯』を講読していきます。本年度は、第5回 ブッダ最後の旅—『大パリニッパーナ経』の途中から再開いたします。

なお、講義初回は前年度読み進めたところまでの解説も行いますので、今年度から受講希望される方もご安心ください。

なお、研究会員（受講者）には『ブッダの生涯』（岩波現代文庫）を購入していただく必要があります。

【参考書】

- ①書名：ブッダ入門〈新装版〉 著者：中村元 出版社：春秋社 出版年：2011
- ②書名：ゴータマ・ブッダ上・中・下〈普及版〉 著者：中村元 出版社：春秋社 出版年：2012

7 ラフカディオ・ハーンの怪談再考 —「耳なし芳一」「雪女」を中心に— 【全6回】／開催方法：現地

よこやまじゅんこ
横山純子

島根大学ラフカディオ・
ハーン研究会事務局長
中村元記念館東洋思想
文化研究所研究員



受講料 会員料金：¥10,600 早割価格：¥9,600（納入期限：5月23日）

【日 程】【全6回】 1回／月 第3・4・5週日曜日
(5/30、6/20、7/18、10/17、11/28、12/19)

【時 間】10：30～12：00

■受講に必要なもの

【テキスト】レジュメ配布

これまでの講座では次のようなことを行った。2017年度はラフカディオ・ハーン（Lafcadio Hearn, 1850—1904）の『日本瞥見記』（*Glimpses of unfamiliar Japan*）の作品に焦点をあてて、その表現について考察した。2018年度は来日前のハーンがアメリカ時代に書いた小説、1889年出版の『チタ』（*Chita*）と1890年出版の『ユーマ』（*Youma*）を取り上げ、ハーンの作家としての思いやその作品について考察した。そして2019年度はハーン作品に見られる宗教や異界に対する思いを考察し、2020年度はさらにハーンが本格的に仏教の涅槃について述べている作品、1897年に出版された *Gleanings in Buddha-Fields*（『仏の畑の落穂』）に所収された“Nirvana —A Study in Synthetic Buddhism”（『涅槃—総合的な仏教研究』）を読んだ。

“Nirvana—A Study in Synthetic Buddhism”の最後の言葉は“the outer-man is the ghost.”である。この場合の“ghost”（『幽霊』）は目に見えないものという意味で使われていると思うが、ハーンはその目に見えない異界の世界に幼い頃より興味を持っていた。今年度は異界をハーンが描き出した怪談を取り上げたい。怪談の中でよく知られているのがハーンのお好きな「耳なし芳一」と「雪女」である。「耳なし芳一」と「雪女」等は訳されたり、朗読されたり、劇や映画になったりしている。今回は作品の創作過程だけでなく、作品が成立後どのような影響をもたらしていったのかも考えてみたい。これらの作品を中心にその作品の成立過程や作品の表現について探り、またその作品がどのように受容され、影響していったのかを通して作品の意味について考察してみたいと思う。

8 「絵本」で読む「大丈夫」という物語 ～「終末期医療」と「仏教」～ 【全6回】／開催方法：



おか ひろし
岡 宏

大阪府立大学講師
中村元記念館東洋思想
文化研究所研究員



受講料 会員料金：¥13,000 早割価格：¥12,000（納入期限：9月15日）

【日 程】【全6回】 1回／月 第4水曜日
(9/22、10/27、11/24、12/22、2022/1/26、2/23)

【時 間】10：30～12：00

■受講に必要なもの

【テキスト】レジュメ配布（各回、参考文献を紹介します）

日本は世界有数の絵本文化を誇る国です。絵本には無限の可能性ががあります。絵本の対象は子どもだけではありません。絵本は、幅広い年齢層に好まれています。「絵本というのはバリアフリー、子どもから大人まで、言葉と絵で非常に幅がある自在な世界」と松居^①は言いました。またアメリカで子ども向け本の研究家であるバーバラ・ベイダーは、「絵本は社会的、文化的、歴史的記録であり、子どもにとってのひとつの経験」と語っています。つまり、絵本は時代を映す鏡でもあるのです。

世界で最初の絵本と言われる『世界図絵』は、チェコの教育者・コメニウス（1592-1670）が、1658年に子ども向け教科書として出版した本で、見開き状態で絵と言葉から構成されています。ニュルンベルクにおいてドイツ語とラテン語で出版され、翌年には英語版、後に世界中の多くの言語に翻訳されました。これに対し、日本最初の絵本は、中村惕斎（1629-1702）が、1666年に子どもに役立つ図絵として著した『訓蒙図彙』^{きんもうずい}とされています。

ところで、『オックスフォード世界児童文学百科』（ハンフリー・カーペンター&マリ・プリチャード共著）は、「絵本」の項、第一行目に「12、13世紀に描かれた日本の絵巻物は、子どもたちが見て楽しんだ、絵と文で構成される最古の「本」の一つ」と紹介しています。確かに「絵巻物」は、絵と言葉で構成され連続することでナラティブ（物語）を創り出しています。この点で「絵巻物」をもって現存する絵本の最古例として紹介した可能性があります。「絵巻物」を「絵本」の源流とすれば、日本は千年にわたる絵本の歴史を有する国で、『源氏物語絵巻』『信貴山縁起絵巻』『鳥獣人物戯画』は、世界最初の絵本群ということになります。

絵本の翻訳や制作もされた小児科医・細谷亮太さんは、「患者の痛み苦しみを取り除くのが医者」という思いのもと、「一切衆生から苦を抜くことを“大悲”というなら、それこそ医者が心がけるべきこと」「“大丈夫。”は、ぴったりの祈りの言葉」と語ります^②。この「大丈夫」に込められた「悲」の行」というはたらき^③に思いを寄せ、EBM（Evidence-Based-Medicine）に加えて、NBM（Narrative-Based-Medicine）の役割が車輪の両輪の如く意識される現代に、「いのち」の物語を大切に「終末期医療」と「仏教」について、世界をつなぐ読もの「絵本」を通して一緒に考えてみましょう。

（註）

- ①『絵本の力』、松居直、河合隼雄、柳田邦夫、岩波書店、2001.5-18
- ②『暮しの手帖』56、pp 99、暮しの手帖社 2012
- ③『大丈夫論』（『大正大蔵経』30、pp256-268）、『国訳一切経』（中観部 3、pp48-53）

【講義計画】

- 第1回；「終末期医療」と「仏教」
- 第2回；「物語論」～看取りにおける「大丈夫」という物語～
- 第3回；絵本①『わすれられないおくりもの』
- 第4回；絵本②『いのちつぐ“みとりびと”』
- 第5回；絵本③『だいじょうぶだよ ゾウさん』
- 第6回；絵本④『チャーリー・ブラウン なぜなんだい』

9 聖徳太子という歴史情報

【全4回】／開催方法：



ほ さかしゅんじ
保坂俊司

中央大学大学院教授



受講料 会員料金：¥9,000 早割価格：¥8,000（納入期限：7月24日）

【日程・時間】【全4回】 7月31日 13：30～15：00・15：20～16：50
8月 5日 13：30～15：00・15：20～16：50

■受講に必要なもの

[テキスト] レジューメ配布

聖徳太子への評価は、昨今かなり変化しております。謂わば歴史的記録（文献や埋蔵資料など）原理主義ともいえる研究者、あるいは近代以降の太子の謂わばイデオロギー理解への反発（今頃ですが）なのでしょう。一部の知識人の中にも、「聖徳太子はいなかった」的な論説が力を持っております。^{おくりな}諡ですが。

確かに日本人は歴史（正確な時間、空間的な記録）を残すことが苦手な民族であり、それを中国やユダヤ・キリスト・イスラム教のような記録を重視する文明と同列に古代を扱うことは、かなり無理があります。日本人は忘れっぽい民族で、しかもいささか感情的、あるいは乗りで盛り上がる傾向があり、その意味で聖徳太子への評価もかなり変化してきました。特に、近世以降の国学者、明治政府下では、聖徳太子は神国日本に、夷狄の宗教を取り入れた、謂わば悪人的な評価がなされ、口汚く批判されてもおりました。

しかし、その一方で、日本の開国の先駆者という評価も、明治中頃から漸く起り、今度は日本の統合の立役者的な意味で、政治的に利用されました。その象徴が憲法十七条への評価です。ご都合主義なのか、新しい評価なのか？

とはいえ、一般の仏教者にとっては、政府や国学者、儒者がなんと言おうと和国の法皇であり、古代における日本の文明化の父であり続けております。

今回の授業では、この聖徳太子評価のブレを客観的に分析し、太子評価のブレの背後にある日本人の精神性を多様な視点から考えてみたいと思います。つまり、仏教の導入保護者、神国日本を穢した張本人、日本の開国の先駆者、偉大な政治リーダー、日本発の憲法制定者、古代国家統合の偉大な政治家、平和思想の形成者、そして存在否定等のテーマをその社会背景などを考慮しつつ検討します。

いずれにしても、古代のヒーローでもある聖徳太子であればこそ、ということですね。

【参考書】

書名：決定版中村元選集別巻6『聖徳太子』 著者：中村元 出版社：春秋社 1998

10 身心を観察する — 仏教瞑想の歴史的展開

【全4回】／開催方法：現地

みの わ けんりょう
蓑輪顕量

東京大学大学院教授



受講料 会員料金：¥9,000 早割価格：¥8,000 (納入期限：7月25日)

【日程・時間】【全4回】 8月1日 13:30~15:00・15:20~16:50
8月2日 10:30~12:00・13:30~15:00

■受講に必要なもの

[テキスト] レジューメ配布

身心を観察する、とはどのようなことなのだろうか。仏教を捉える上で、もっとも重要な視点が、この「身心を観察」することである。仏教の瞑想は、パーリの聖典では、サティパッターナ（念処）と呼ばれた。どのようなことを行うのかと言えば、「注意を振り向けて」「しっかりと把握する」ことであった。このことが何を意味し、何を可能にするのか、まずは確認する。

その後、その観察の仕方は、サマタ（止）とヴィパッサナー（観）という名称で呼ばれるようになり、現代に継承されているが、止観とよばれるようになった時、どのような特徴が意識されたのであろうか。また、弟子も含めて在家の方達も、どのように日常を過ごすようになったのか、考えてみたい。そして、この観察の方法は、古代、東アジア世界に伝えられた。異なった文化圏の東アジア文化圏において、どのように人々に受容され、展開したのか。そして、最後には、日本にどのように展開したのか、大きな歴史的な展開と、日本独自の工夫を概観する。

なお、四回の内容は、下記の通りである。

- 第1講 ブッダの「身心の観察」とは何か
- 第2講 弟子達の学び
- 第3講 東アジア世界への伝播—中国伝統思想との邂逅
- 第4講 日本における受容—様々な手立て

【参考書】

『仏教瞑想論』蓑輪顕量 春秋社、2008年

11 稲荷信仰と神仏習合

【全4回】／開催方法：



かとう
加藤みち子

武蔵野大学特任教授、
中村元東方研究所
主任研究員



受講料

会員料金：¥9,000 早割価格：¥8,000（納入期限：8月9日）

【日程・時間】【全4回】 8月16日 13：30～15：00・15：20～16：50
8月17日 13：30～15：00・15：20～16：50

■受講に必要なもの

[テキスト] レジューメ配布

お稲荷様は、現在も全国に多数の社殿がある人気の神様ですが、JR京都駅のすぐそばにある真言宗総本山東寺と、伏見稲荷大社は密接な関わりがあります。今回は、『稲荷大明神縁起』『稲荷大明神流記』などの史料を読みながら、仏教と神道がどのような関わりをもちつつ発展していったのかを「お稲荷様」への信仰を切り口として読み解いていきます。

1 時限目 伏見稲荷と弘法大師空海

京都の伏見稲荷は日本全国のお稲荷様の総本社です。伏見稲荷の神仏習合には、弘法大師空海が深くかかわっています。ここでは、お稲荷様がどのような神様であるか、その来歴と、弘法大師空海がどのように関わっているかということ資料やスライドを見ながら検討していきます。

2 時限目 東寺・ダキニ天と稲荷神

お稲荷様には京都の伏見稲荷に祀られる稲荷神とは別系統で、愛知県の豊川稲荷で知られる「仏教系稲荷」—ダキニ天があります。ここでは、ダキニ天と稲荷神のかかわりについて史料をふまえて読み解いていきます。

3 時限目 稲荷神と「狐」と神仏習合

お稲荷様といえば眷属の「狐」が有名ですが、ここでも実は神仏習合が重要なかかわりを持っています。ここでは、狐との関わりを中心に、稲荷信仰の神仏習合を見ていきます。

4 時限目 稲荷山と「修験道」—稲荷信仰の神仏習合

修験道というのは、わが国に古来存在する「霊山信仰」と神道・仏教が習合したものです。ここでは、稲荷信仰の背景に「稲荷山」への信仰があり、修験等との関連で全国に稲荷信仰が展開したということを見ていきます。

【参考書】

伏見稲荷大社社務所『稲荷大社由緒記集成』信仰著作編、1957年

大森恵子『稲荷信仰の世界—稲荷祭と神仏習合』慶友社、2011年

五来重『稲荷信仰の研究』山陽新聞社、1985年

村山修一『神仏習合の聖地』法蔵館、2006年

12 日本における「般若経」の受容とその歴史的展開

【全4回】／開催方法：



わたなべしやう こ
渡辺章悟
東洋大学教授



受講料 会員料金：¥9,000 早割価格：¥8,000（納入期限：9月11日）

【日程・時間】【全4回】 9月18日 10：30～12：00・13：30～15：00
9月25日 10：30～12：00・13：30～15：00

■受講に必要なもの

[テキスト] レジューメ配布

初期大乘経典を代表する般若経は数十種からなる多種多様な経典群である。その中で日本仏教において重視されたのは、般若心経、金剛般若経、般若理趣経、大般若波羅蜜多経などであろう。これらの漢訳「般若経群」は、すでに最初の正史である『日本書紀』から、六国史最後の『日本三代実録』の中に記録されている。このような歴史書の他に、文学や日記などの文学作品の中で、本経がどのように記録されているのか、つまり般若経の受容の実際を解説する。

さらに仏教関係の文献の中で扱われる本経の記述と、実際の般若経の文脈を読み解き、本経がどのように信仰されてきたのか、つまり般若経典と信仰のかかわりを根拠づけておきたい。特に、信仰された般若経の種類の特長、それぞれの読誦・書写・儀礼といった信仰形態の分析を通して、本経が受容された社会階層、時代、地域等を確定し、そこから読み取れる般若経信仰の実態を再び描き出しておく。

本講義の目的は、以上のような考察を通して、般若経信仰が日本仏教の中でどのように位置付けられるのかを明らかにすることである。

第一回目は歴史書や文学に見る般若経、第二回目は心経会、転読大般若会といった儀礼からみた般若経、また民俗信仰の中に生きる般若心経などについても解説する予定である。

なお本講座はzoomによるオンライン講義とするが、さまざまな画像を用いて般若経信仰の実際をよりよく理解できるように努めたい。

【参考書】

1. 書名：般若経大全 著者：渡辺章悟等編 出版社：春秋社 2015
2. 書名：般若経の思想 著者：渡辺章悟 出版社：春秋社 2019

たなか
田中ケネス
武蔵野大学名誉教授



受講料 会員料金：¥5,000 早割価格：¥4,000（納入期限：9月25日）

【日程・時間】【全2回】 10月2日 10：30～12：00・13：30～15：00

■受講に必要なもの

[テキスト] レジューメ配布

Dennis Hirota (翻訳) Tannisho: A Primer. Ryukoku University

『歎異抄』は浄土真宗の宗門を超え注目され、幅広い層の人々の間で人気を呼んでいる日本仏教を代表する書物であります。それが、海外でも同じであり、すでに数ヶ国語に訳されていて、英語でも10冊以上の訳があるのです。

英語を通して読めば、また別の感覚と理解が生まれてくる可能性があります。私は目下、東京で三つの「英語を通しての仏教講座」を受け持っていますが、講座は大変人気があり、合計170人が受講しています。受講生からは、英語を通して仏教を学ぶと分かりやすく、また、今まで味わったことがない感覚を覚えるという意見をよく聞きます。また、若い年齢層の受講生が目立ちます。

では、『歎異抄』からのいくつかの文章がどのように訳されているかを紹介しましょう。

- 1) 第2章、「いづれの行もおよびがたき身なれば、とても地獄は一定すみかぞかし。」は、Since I am one for whom any practice is difficult to accomplish, at all events hell is decidedly my home!
- 2) 第3章「善人なほもって往生をとぐ、いはんや悪人をや。」 Even a good person attains birth; how much more so the evil person!
- 3) 第5章「そのゆへは、一切の有情はみなもて世々世々の父母兄弟なり。」 The reason is, all living things - every one of them - are my parents or brothers and sisters of many lives in many states of existence.

本講では、『歎異抄』の重要な箇所を、講読して行く予定です。この授業を一昨年受けた方も、新しく受ける方にも興味を持って頂ける内容となると思います。

英語の文章の詳しい説明をした後、講師がその意味を真宗教学と大乘仏教の観点から日本語で詳しく説明いたします。また、現代人が直面する実存的と社会的な課題を『歎異抄』の叡智の視点から考えることにも努めることにしたいと思っています。

教科書は、Dennis Hirota (翻訳) Tannisho: A Primer. Ryukoku Universityを使用します。しかし、この本は絶版になっていますので、購入できません。したがって、講師が受講生の分を用意いたしますので、受講生は購入する必要はありません。

英語能力に自信がなくても、遠慮なく参加されることを歓迎いたします。

【参考書】

講師が用意

14 華嚴仏教入門

【全4回】／開催方法：現地

たけむらまき お
竹村牧男

東洋大学名誉教授



受講料 会員料金：¥9,000 早割価格：¥8,000（納入期限：10月18日）

【日程・時間】【全4回】 10月25日 13：30～15：00・15：20～16：50
10月26日 10：30～12：00・13：30～15：00

■受講に必要なもの

[テキスト] レジюме配布

奈良の東大寺の大仏は、『華嚴経』の教主・盧舎那仏（毘盧遮那仏）をかたどったものであり、東大寺は華嚴宗のお寺です。東大寺のことは、誰もが知っていると思いますが、では華嚴とは何のことでしょうか。

もちろん、それは『華嚴経』に由来する言葉ですが、「雑華嚴飾」と言って、仏身がさまざまな花で飾られていること、多彩な功德に満たされていることを意味します。『華嚴経』は主にその功德を実現する菩薩道を説く經典で、後半三分の一ほどを占める「入法界品」は、善財童子が53人の善き友（善知識）を訪ねて境涯を磨き、ついに仏と成る様子が描かれています。

しかしその中に、空思想、唯心思想、如来藏思想などが説かれており、また仏の一本の毛先に無数の仏国土が存在しているなど、一入一切・一切入一、一即一切・一切即一等を表わす不思議な光景がしばしば描かれています。このように、『華嚴経』には、大乘仏教のきわめて高度な世界観が豊かに開演されています。

この『華嚴経』に基づき、唐の智儼（602～668）とその弟子・賢首大師法蔵（643～712）は、華嚴宗の教学を創成・大成しました。智儼には『華嚴経搜玄記』や『華嚴経孔目章』、『華嚴五十要問答』等、法蔵には『華嚴経探玄記』や『華嚴五教章』などがあります。特に法蔵の『華嚴五教章』は、華嚴思想の全体を要領よくまとめています。

本講では、『華嚴経』の世界の一端を覗いてみるとともに、法蔵の『華嚴五教章』を中心に、華嚴宗の教相判釈（全仏教への評価）や一乗思想、重重無尽の縁起をなす事事無礙法界の論理を明かす十玄縁起無礙法門や六相円融義などについて解説し、華嚴仏教の特質に理解を深めていただきます。

【参考書】

書名：『華嚴とは何か』 著者：竹村牧男 出版社：春秋社 2004

書名：『華嚴五教章を読む』 著者：竹村牧男 出版社：春秋社 2009

15 仏教聖典へのいざない

【全4回】／開催方法：現地

しゃく こしん
釈 悟震

公益財団法人中村元東方
研究所／東方学院
理事・総務・講師・副総括
研究員
中村元記念館東洋思想
文化研究所 副所長
スリランカ国立ペラデニヤ
大学客員研究員



受講料 会員料金：¥9,000 早割価格：¥8,000（納入期限：10月24日）

【日程・時間】【全4回】 10月31日 13：30～15：00・15：20～16：50
11月 1日 10：30～12：00・13：30～15：00

■受講に必要なもの

【テキスト】講義までにご購入ください。

『仏教経典散策』 著者：中村元編著 出版社：角川文庫

【講義の内容】

「八万大藏経」ともいわれるほど膨大な仏教の経典。どうして仏教はこれほど経典が多いのか。その理由や真の意味はどこにあるのか。またわたくしどもは、どれだけの経典の内容や意味を理解しているのであるだろうか、等々多くの疑念に対する紐を解くと同時に、われわれの日常生活文化になじんでいる仏教をより身近に感じさせ、摩訶不思議なる心の安らぎを覚えさせる講義であってほしいと願っております。

そこで本講義では、長い間もっとも難解で親しみやすすくない仏教の聖典をわたくしどもが親しみやすくなるように、日頃、心血を注いだ中村元博士の数多くの珠玉の教説—『スッタニパータ（経集）』、『ダンマパダ（法句経）』、『般若心経』、『華嚴経』、『法華経』、『維摩経』、『勝鬘経』、『父母恩重経』、『観音経』、『金剛経』など最初期の仏教聖典、大乘仏教の聖典、密教の聖典中においても、古からもっとも著名な仏教聖典を、説話やエピソードを交えてつづられた『仏教経典散策』を主要テキストとして、より分かりやすく、なおかつ担当講師独自の目線において仏教聖典への思惟方法をふまえて、そのいざないを一昨年度につづいて順次講じてまいります。

【本講義進捗の件について】

膨大な仏教聖典のなかで、仏教伝来約二千有余年という長い歴史を有する日本仏教において親しまれつつ、地球上どここの民族も有し得ない日本人特有の文化ならびに人間形成をなしとげた本テキストに挙げられた仏教経典の数々。それらに関わる深層の真相を全地球的観点、とりわけ仏教発祥の地、インドおよび漢字文化圏である、中国、朝鮮半島、日本にいたるまでを概観するのも、本講義の特徴であります。次年度においても本テキストに挙げられている経典を順次継続的に進捗されることを念頭において企画された講座であることを申し上げます。

本年度は、日本の精神史ならびに文化史を築き上げた聖徳太子が数多く的大乗仏教の聖典よりことさら愛しつづけ、多くの日本人に教え勸進せられた『維摩経』、『勝鬘経』、『法華経』のいざないから不滅の真理から始め、仏教聖典のまことのいざないを学びたいと思います。

聖徳太子の経典講義の仕方は独特で、一万何千巻あるという大蔵経のなかからとくに三つの経典だけを取り出して講義されたと伝えております。その三つとは『維摩経』『勝鬘経』『法華経』であります。

『維摩経』はヴィマラキールティ（Vimānākirīti）という長者（富貴の人）を主題とした経典であります。ヴィマラとは「穢れがない」、キールティとは「誉れ」という意味で、「穢れなき誉れ」という意味で、その音を写して維摩といひます。

『勝鬘経』は、国王の妃である勝鬘夫人によって説かれたものであるという立て前であり、『維摩経』は在俗の資産家維摩居士が主人公である。また『法華経』は現実生活を肯定し、意義づける経典であると考えられていた。だから、これらの三つの経典を選んだということは、世俗生活を肯定する聖徳太子の基本的立場からは当然の帰結であったのである。

『維摩経』のテーマはこうであります。釈尊の弟子たちが維摩のところへ行くと、いろいろ質問されてやつつけられる。そして自分の至らぬことを悟られる。最後に維摩が本当の教えを説くのであります。

そして、最後のぎりぎりの境地まで達すると、黙然無言であったというのである。釈尊の弟子たちが、「私はこう思います。ああ思います」といろいろ真理を説いた。文殊菩薩は、最高の真理というのは言葉では説かれないもので、「文字もなく説もなし」という。そして「維摩さん、あなたはどうかお考えですか」といって促すと、維摩はただじっとすわって黙然無言であった。文殊は、「一言葉にはいえない」ということを言葉に出していつてしまった。ところが維摩は身をもって体現している、無言の行をおこなっている。

以上のようなストーリーの真意を確認しつつ、【仏教聖典へのいざない】を記憶に残る講義を進めたく思っております。どうかご興味とお志がおありの方々のご参集を心待ち致したく存じております。

16 『秘密集会タントラ』に学ぶチベット密教の基本構造

【全4回】／開催方法：現地

ひらおかこういち
平岡宏一

公益財団法人 中村元
東方研究所 理事
清風中学校・高等学校 校長
種智院大学 客員教授
NHK文化センター京都 講師



受講料 会員料金：¥9,000 早割価格：¥8,000（納入期限：11月13日）

【日程・時間】【全4回】 11月20日 13：30～15：00・15：20～16：50
11月21日 10：30～12：00・13：30～15：00

■受講に必要なもの

[テキスト] レジューメ配布

今回のテキスト『吉祥秘密集会タントラ聖者流に沿って密教の地・道構造を善説する有徳の棧橋』（以下『秘密集会タントラ概論』）は、ゲルク派の秘密集会聖者流の入門書である。著者のヤンチェン・ガロ（1740～1827）、本名ロサン・トゥントゥップは、アムド地方のラマで、ヤンチェン・ガロ（弁財天が喜ぶ智慧）と渾名されたように、18世紀のゲルク派を代表する俊才である。彼の著作の中で、最も有名なものがこの『秘密集会タントラ概論』である。その分かり易さ、簡潔さから、ゲルク派では今も秘密集会だけでなく、全ての無上瑜伽タントラを学ぶ者にとって最も大切な入門書となっている。

私は1988～1989年の二年間に亘り、ゲルク派の密教総本山ギュメ密教学堂に留学したが、その際、第99世管長ロサン・ガンワン師について、秘密集会タントラを学ぶ機会を得た。以降20年にわたり、ロサン・ガンワン師の指導を受けたが、その最初のテキストがこの『秘密集会タントラ概論』であった。まさに“目から鱗”で、それまで密教に持っていた多くの疑問に答えるものであった。今回は、このテキストを弟子のガワン・パールデンの『大秘密四タントラ概説』と合わせながら読み解き、女性の即身成仏や、大樂の本質等にも触れながら、チベット密教の伝統解釈を分かり易く解説する。

○各講座の内容

1. 『秘密集会タントラ』の構造と学び方

秘密集会タントラは単独の経典ではない。

複数のタントラ群を合わせて如何に学ぶものかを説明する。

2. チベット密教の灌頂

密教への入門は灌頂に始まる。灌頂の意味と役割を考える

3. 生起次第の構造と無上瑜伽タントラ独自の用語の説明

無上瑜伽タントラの成就法は生起次第と究竟次第からなる

そのうち第一次第である生起次第の説明と無上瑜伽タントラの基本用語を説明する。

4. 究竟次第 幻身と光明

後半の究竟次第でチベット密教の想定する即身成仏を考える

【参考書】

書名：『秘密集会タントラ概論』 著者：平岡宏一 出版社：法蔵館 出版年：2018年

17 特別集中講義「仏伝を味わう—少年時代・結婚・出家」 【全4回】／開催方法：現地

まるい ひろし
丸井 浩

武蔵野大学・特任教授
東京大学名誉教授



受講料 会員料金：¥9,000 早割価格：¥8,000(納入期限：2022年3月1日)

【日程・時間】【全4回】 2022年3月8日 13:30～15:00・15:20～16:50
2022年3月9日 10:30～12:00・13:30～15:00

■受講に必要なもの

[テキスト] レジューメ配布

前回の講義では、釈尊の生涯を綴った仏伝資料を参照しながら、釈尊（成道前なので厳密には「菩薩」と仏伝では呼ばれるのですが）の誕生にまつわる話を中心に致しました。今回はその続きです。誕生後から出家するあたりまでを扱うつもりです。

タイトルに「仏伝を味わう」と記しました。釈迦族の聖者の生涯に関する歴史的な事実を掘り起こしていくことが目標なのではなく、文学作品（宗教文学）に近い仏伝の魅力とそこに込められた意味を皆さまと共に探りたいと思うからです。

取り上げる予定の主なトピックを列記しておきます。

1. アンタ仙人の予言と転輪聖王
2. 命名について—「シッダールタ」に込められた意味
3. 仏母マーヤーの死とルンビニー園での出産
4. 少年・青年時代（樹下観耕など）
5. お妃選びと結婚—王妃は3人？
6. 出家の決意

こうしてトピック名をご覧になれば、ほとんど全て皆さんがご存知の内容と思われるかも知れません。でも例えば「シッダールタ」（パーリ語ではシッダッタ）という名前の意味はどのように理解されているのでしょうか。「目的を成就した人」と思っている方が大半ではないでしょうか。私もそう思っていました。しかし仏伝資料をあれこれ調べてみると、そのように説明している資料はどうも見当たりません。むしろ別の意味が込められているようなのです。また仏母マーヤーの死について仏伝が語ることは非常に僅かですが、漢訳仏伝資料の中には、仏母マーヤーが王子出産後まもなく死んでしまうことを、マーヤーの父親は予知していたと記すテキストもあります。そしてルンビニー園での出産はそれと関係があるというのです。

少なくとも私にとっては、仏伝を読むことはとても新鮮です。読むたびに新しい発見があるような気がしています。興味のある方は、どうぞお気軽にご参加下さい。

中村元記念館文化講座 講義案内 (年会費不要、受講料のみ必要)

現代社会のなかでどのように生きていくのか、東洋の文化に改めて向き合ってみませんか。受講料のみで参加できます。お気軽にご参加ください。

18 初歩から初める仏像彫刻

【全8回】／開催方法：現地

いしがよしあき
石賀善章

仏巧舎 倉吉代表



受講料 一般料金：¥13,800 早割価格：¥12,800 (納入期限：4月10日)

【日程】【全8回】 1回／月 第3週土曜日
(4/17、5/15、6/19、7/17、8/21、10/16、11/20、12/18)

【時間】10：30～12：00

■受講に必要なもの

[テキスト] レジュメ

もちろん仏像彫刻の魅力と理解の上でテキスト購入は重要ですが、まずは、地紋彫から聖観音像まで課題内容のコピーを用意できますので、それぞれの課題に取り組んで頂きたいと存じます。

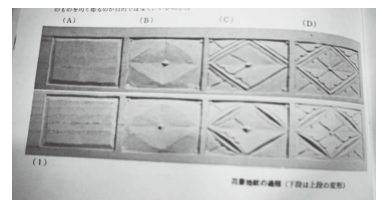
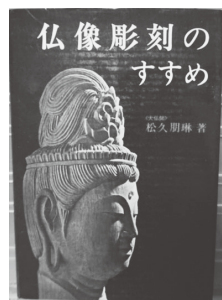
進め方としては初心者は地紋彫で小刀の扱い方を熟知していただき、安全性に配慮し御手、御首、救世観音まで。さらに地藏・如来像、本書の最終課題である聖観音像まで学んでいただきたいと思います。

課題用材は紅松材を販売 (300円～1000円程度)、彫刻刀は上記の彫刻刀+αで聖観音像まで彫れますので、まずは3000円～5000円のセット品に必要なに応じて買い足していく事をおすすめします。

また、刃物の研ぎは講座の際に持参しますが、課題はご自宅で自習なされるのが基本で、講座では作品を解説しつつ直接添削していきます。(受講人数にもよりますが)

その他、経験者の方には別のテキストの課題 (図面及び用材) もご用意いたします。

基礎から学び、安全に、歴史に育まれた伝統的優美さを体験していただければと思います。



【参考書】

書名：仏像彫刻のすすめ 著者：松久朋琳 出版社：日貿出版社 1973

書名：続 仏像彫刻のすすめ 著者：松久朋琳、松久宗琳 出版社：日貿出版社 1975

19 コロナとペスト～カミュの『ペスト』とインド哲学 【全6回】／開催方法：現地

せこやすお
瀬古康雄

シタール奏者
しまねガムラン主宰
島根県立大学短期大学部
非常勤講師



受講料 一般料金：¥10,600 早割価格：¥9,600（納入期限：5月1日）

【日程】【全6回】 1回／月 第2週土曜日
(5/8、6/12、7/10、9/11、10/9、11/13)

【時間】13：30～15：00

■受講に必要なもの

[テキスト] レジュメ

コロナが蔓延するにつれ世界中でよく読まれるようになったカミュの小説『ペスト』は、ペストという不条理な災いに直面した人間の「不幸と教訓」が書き綴られた作品です。全編を通して描かれる「不幸」は私たちのコロナの日々とほとんど同じで、気味悪いほどわかりやすくピッタリ重なってくるのですが、ペストがもたらす「教訓」とは何なのかとなると、いろんな読み方があるようです。『バガヴァッド・ギーター』はカミュの愛読書だったようで、インド哲学を通してカミュの小説『ペスト』を読み解くと、とても味わい深く、教訓に満ちた物語になっているように思われます。ちょうど1年程前に、このことに気づいて「コロナとペスト」という4回シリーズのエッセイを書いたことがありますが、この講座では、エッセイを再読しながらもう少し思索を深めたいと思います。

【参考書】

参考書は特に定めませんが、参考文献を適宜提示するとともに、授業で使用したCDやDVDを閲覧可能にします。

20 聞香体験 ～伝統芸道香道とは～

【全6回】／開催方法：現地

おおたにかよこ
大谷香代子

(公財)お香の会理事
出雲文化伝承館特別顧問
香道御家流和草会主宰



受講料 一般料金：¥10,600 早割価格：¥9,600 (納入期限：5月6日)

【日程】【全6回】 1回／月 第2週木曜日
(5/13、6/10、7/8、10/14、11/11、12/9)

【時間】10:30～12:00

■受講に必要なもの

[テキスト] 材料代 (香木炭団和紙など) 1000円 (各回毎)

昨年度に4月からスタート予定の本講座は、新型コロナ発生のため、10月から3回の開講と変更になりました。

昨年度は香道の歴史文化を知っていただく事を主眼として開講致しましたが、その前に香を実際に焚き、香の香りを体験していただく事が必要であることが分かりました。日本人は中国から請来した漢字を、日本の言葉に置き換えることにより、独自の日本文化を作り上げて行きました。中でも平安貴族文化は後のどの時代においても憧れの文化でした。文化の発展はその担い手や享受者を次第に増やししながら、そしてまた色々な芸道を加えながら、中世東山文化へと続き発展し、現在の伝統古典芸道の発生萌芽を見ます。

茶道は村田珠光、華道は池坊専慶、香道は志野宗信と三條西実隆がそれぞれ「道」となっていく流祖と目されています。

日本文化に通底するものとして「和歌」が取り上げられます。香道はことに和歌そして連歌との関係が深いものです。組香を体験しながら古典日本文化に触れ、その広がりを感じていただく事で、香道を認識して頂きたいと考えております。

第1回	香の種類	組香体験	小鳥香
第2回	香の聞き方	組香体験	三炷香
第3回	聞き書き方	組香体験	籬香
第4回	組香の成り立ち	組香体験	白河香
第5回	和歌と組香	組香体験	初霜香
第6回	香席の実際	組香体験	当座香

感染対策は、充分配慮徹底を致しております。

具体には、マスク着用。入室前のアルコール消毒。香体験前の再度消毒。廻香炉一巡毎に消毒。手袋着用。体調不良の参加不可。

21 小さき神々と神楽～家守る神・崇る神～

【全2回】／開催方法：現地

なかのあいか
中野秋鹿

中村元記念館東洋思想
文化研究所研究員



受講料

一般料金：¥4,200 早割価格：¥3,200（納入期限：8月22日）

【日程・時間】【全2回】 8月29日 13：30～15：00・15：20～16：50

■受講に必要なもの

[テキスト] レジュメ配布

神楽と言うと、華やかな装束で神話や伝説の物語を勇壮に舞う、地域の伝統芸能であると認識されている方も多いでしょう。しかしこの神楽の芸能としての側面はいわば余興であり、神楽は本来、人が何らかの目的をもって神に働きかけるための儀式です。

そして中国地方の神楽においてその対象となる神は、多くの場合、古事記や日本書紀神話に登場するような神ではありません。村の氏神社の祭神でもありません。その多くは、「荒神」などと呼ばれ固有の名を持たぬ、小さき神々なのです。

それら小さき神々は、固有の名は無くとも、実に様々な性質を有しています。まずは神楽を執行する家、または複数の家で構成される地縁・血縁的共同体を守護する、祖霊神や地神が中心となります。他にも、家やその地域の生業に関わる神々も重要です。そして時には、崇りをなすとされる恐ろしい神も含まれるのです。

それぞれの神に応じた御幣や供物を用意し、それぞれの神に応じた祭文を唱えるなど、神楽の複雑な儀式の中には、生活に深く根差した小さき神々に対する、人々の想いの強さが顕れています。

伝統芸能としての神楽から一步踏み込んで、知られざる小さき神々の世界を覗いてみましょう。

22 チベット仏教求法僧・能海寛の仏教論文を読む

【全6回】／開催方法：現地

おかざきひでき
岡崎秀紀

能海寛研究会会長
学芸員



受講料

一般料金：¥10,600 早割価格：¥9,600（納入期限：10月16日）

【日 程】【全6回】 1回／月 第4週土曜日
(10/23、11/27、12/25、2022/1/22、2/26、3/26)

【時 間】13：30～15：00

■受講に必要なもの

[テキスト] レジュメ・資料配布

これまでの定期講座では、チベット仏教求法僧、日本人初の入蔵者・能海寛^{のうみ ゆたか}（1868－1901?）について、「チベット仏教を目指した東西の先駆者たち」（2016年度）、「『世界に於ける佛教徒』を読む」（2017・18年度）、「能海寛のチベット仏教探検への道」（2019年度）をテーマに開講してきました。能海の生涯と業績、著作、チベット探検行をいっしょに学び、能海への理解を深めることができました。特に、講座の成果として、《新かな遣い版》『世界に於ける佛教徒』を刊行（2019）することができました。

2021年度は「チベット仏教求法僧・能海寛の仏教論文を読む」のテーマで開講します。能海は、出身校である京都・普通教校や東京・哲学館時代から、仏教学、東洋哲学の研鑽につとめ、チベット探検出立（1898.10）の直前まで、多くの仏教論文を書いています。

『東洋哲学』掲載 主要論文 ※石峰^{せきほう}は能海の雅号

能海寛「宗教学の必要」、第4編第3号、P130-134（1897年5月12日発行）

石峰記「西藏國新教の開祖ツァン、ハバ略傳」第4編第4号、P185-189（1897年6月5日）

石峰生「東洋學に就きて」第4編第5号、P258（1897年7月5日）

石峰生「漢學と支那語」第4編第6号、P308-309（1897年8月5日）

石峰誌「ツァン、ハバの年代異説」第4編第7号、P348-349（1897年9月7日）

石峰「佛教研究の三方面」第5編第2号、P100-102（1898年2月5日）

石峰「西藏國大藏經總目錄」第5編第3号、P153-154（1898年3月5日）

石峯「支那學の勃興」第5編第4号、P211-212（1898年4月5日）

『仏教』掲載 論文 ※天頂山は能海の生家・浄蓮寺の山号

天頂山「西藏國初伝釈尊入滅考異説」第128号、P298（1897年7月15日）

論文には、西洋チベット学の祖、チョーマ・ド・ケレスの著作の紹介、チベット大藏經、釈尊入滅考、ツォンクハバ略伝など、チベット仏教の歴史を扱った論考が含まれます。講座では、輪読形式で論文を読み進め、内容理解をはかります。そして能海の仏教論文の全体像を把握することを目的とします。はじめての方でも受講しやすいよう、これまでの講座での学習を復習しつつ進めてまいります。

【参考書】

書名：《新かな遣い版》『世界に於ける佛教徒』 著者：能海寛 出版社：報光社 2019

2021年度 東方学院松江校・中村元記念館文化講座 年間スケジュール

2021年 4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1	木	1	土	1	火	1	木	1	日	1	水
2	金	2	日	2	水	2	金	2	月	2	木
3	土	3	月	3	木	3	土	3	火	3	金
4	日	4	火	4	金	4	日	4	水	4	土
5	月	5	水	5	土	5	月	5	木	5	日
6	火	6	木	6	日	6	火	6	金	6	月
7	水	7	金	7	月	7	水	7	土	7	火
8	木	8	土	8	火	8	木	8	日	8	水
9	金	9	日	9	水	9	金	9	月	9	木
10	土	10	月	10	木	10	土	10	火	10	金
11	日	11	火	11	金	11	日	11	水	11	土
12	月	12	水	12	土	12	月	12	木	12	日
13	火	13	木	13	日	13	火	13	金	13	月
14	水	14	金	14	月	14	水	14	土	14	火
15	木	15	土	15	火	15	木	15	日	15	水
16	金	16	日	16	水	16	金	16	月	16	木
17	土	17	月	17	木	17	土	17	火	17	金
18	日	18	火	18	金	18	日	18	水	18	土
19	月	19	水	19	土	19	月	19	木	19	日
20	火	20	木	20	日	20	火	20	金	20	月
21	水	21	金	21	月	21	水	21	土	21	火
22	木	22	土	22	火	22	木	22	日	22	水
23	金	23	日	23	水	23	金	23	月	23	木
24	土	24	月	24	木	24	土	24	火	24	金
25	日	25	火	25	金	25	日	25	水	25	土
26	月	26	水	26	土	26	月	26	木	26	日
27	火	27	木	27	日	27	火	27	金	27	月
28	水	28	金	28	月	28	水	28	土	28	火
29	木	29	土	29	火	29	木	29	日	29	水
30	金	30	日	30	水	30	金	30	月	30	木
		31	月			31	土	31	火		

講義時間：①10:30～12:00 ②13:30～15:00 ③15:20～16:50

10月		11月		12月		2022年 1月		2月		3月	
1	金	1	月 釈①②	1	水	1	土 休館日	1	火	1	火
2	土 ケネス①②	2	火	2	木	2	日 休館日	2	水	2	水
3	日	3	水	3	金 斎藤②	3	月 休館日	3	木	3	木
4	月 休館日	4	木	4	土	4	火 休館日	4	金	4	金
5	火	5	金 斎藤②	5	日	5	水	5	土	5	土
6	水	6	土	6	月 休館日	6	木	6	日	6	日
7	木	7	日	7	火	7	金	7	月 休館日	7	月 休館日
8	金 的野②	8	月 休館日	8	水 藤岡①	8	土	8	火	8	火 丸井②③
9	土 藤島① 瀬古②	9	火	9	木 大谷①	9	日	9	水	9	水 丸井①②
10	日	10	水 藤岡①	10	金 的野②	10	月 休館日	10	木	10	木
11	月 休館日	11	木 大谷①	11	土	11	火	11	金	11	金
12	火	12	金 的野②	12	日	12	水	12	土 藤島①	12	土 藤島①
13	水 藤岡①	13	土 藤島① 瀬古②	13	月 休館日	13	木	13	日	13	日
14	木 大谷①	14	日	14	火	14	金	14	月 休館日	14	月 休館日
15	金 斎藤②	15	月 休館日	15	水	15	土	15	火	15	火
16	土 石賀①	16	火	16	木 清水谷③	16	日	16	水	16	水
17	日 横山①	17	水	17	金 斎藤②	17	月 休館日	17	木	17	木
18	月 休館日	18	木 清水谷③	18	土 石賀①	18	火	18	金	18	金
19	火	19	金 斎藤②	19	日 横山①	19	水	19	土	19	土
20	水	20	土 石賀① 平岡②③	20	月 休館日	20	木	20	日	20	日
21	木 清水谷③	21	日 平岡①②	21	火	21	金	21	月 休館日	21	月 休館日
22	金	22	月 休館日	22	水 岡①	22	土 岡崎②	22	火	22	火
23	土 藤島① 岡崎②	23	火	23	木	23	日	23	水 岡①	23	水
24	日	24	水 岡①	24	金	24	月 休館日	24	木	24	木
25	月 竹村②③	25	木	25	土 岡崎②	25	火	25	金	25	金
26	火 竹村①②	26	金	26	日	26	水 岡①	26	土 藤島① 岡崎②	26	土 岡崎②
27	水 岡①	27	土 藤島① 岡崎②	27	月 休館日	27	木	27	日	27	日
28	木	28	日 横山①	28	火 休館日	28	金	28	月 休館日	28	月 休館日
29	金 斎藤②	29	月 休館日	29	水 休館日	29	土			29	火
30	土 中村元文化賞	30	火	30	木 休館日	30	日			30	水
31	日 釈②③			31	金 休館日	31	月 休館日			31	木

各講座へのお申込みのご案内

●受講申込・受講料のお支払方法

以下のいずれかの方法でお申し込みください（お電話・FAXでの申し込みはできません）。
お申し込みは入金を確認できた時点で完了いたします。

1. 窓口でのお申込み・お支払い

受講申込書（33ページ）にご記入の上、年会費（文化講座のみ受講の方は不要）、受講料と一緒に提出してください。

2. 振込でのお申込み・お支払い

(1) 年会費、受講料を、下記の口座にお振込みください。

注1. 振込手数料はご負担ください

注2. 振込のご依頼人名と申込書の氏名は同じにしてください。

注3. 振込の場合、領収書の発行は致しません。振込の際に発行される控えを大切に保管してください。

(2) 受講申込書（33ページ）にご記入の上、(1)の振込控えのコピー（ご入金を確認できる書類）と一緒に、郵送でご送付ください。

〈郵送先〉〒690-1404 松江市八束町波入2060番地 中村元記念館宛

【振込先】

■ゆうちょ銀行（この冊子に添付の払込票をご利用ください）

口座番号 01370-8-91228 加入者名 中村元記念館

■山陰合同銀行 松江駅前支店（店番号004）

口座番号 普通3694628

口座名義 特定非営利活動法人中村元記念館東洋思想文化研究所

●受講にあたっての留意事項

- ①講義によっては受講料のほかに、別途テキスト・教材などの購入が必要な講義がございます。各講義案内のページをご確認ください。
- ②一旦納入された受講料、年会費、入会金は原則としてお返しいたしません。
- ③原則として、申込されたご本人以外の受講はできません。
- ④講師や他の受講生の迷惑となる行為があった場合、受講をお断りする場合があります。
- ⑤講義時間内での録音・録画・写真撮影は禁止です。
- ⑥布教活動・政治活動・物品販売など講義に関係のない行為はお控えください。

●体験受講制度について

東方学院松江校講義、文化講座の一部については、原則第1回目の講義に限り体験受講ができます。体験受講を希望される方は、事前申し込みが必要ですのでお問い合わせください。

体験受講料：¥2,000—

（体験後、正式に申し込みをされる場合、受講料金は体験受講料を差し引いた金額となります。）

●その他

- ・頂いた個人情報は当法人の業務のためのみに使用し、ご本人の同意を得ずに第三者に提供することはありません。
- ・各講座の開講の有無、回数は予定です。やむを得ない事情により変更・中止となる場合があります。

●新型コロナウイルス感染症拡大防止に対するご案内

- ・万が一、感染者の発生が疑われた場合などに要請を受け必要に応じて保健所等の公的機関へ情報提供を行う場合がございますので予めご了承ください。
- ・発熱、咳などの症状、その他体調不良の症状のある方、過去2週間以内に感染が拡大している国や地域への訪問歴がある方はご来館をお控えください。
- ・マスクの着用、手洗い、手指の消毒などの感染症対策にご協力ください。
- ・37.5℃以上の発熱がある方はご入館をご遠慮いただきます。

2021年度 東方学院松江校・中村元記念館文化講座受講申込書

◆ 太枠内をご記入ください。

ふりがな		申込日	年	月	日
氏名		生年月日			
住所	〒	—	年	月	日
電話番号	(緊急の際に連絡がつく番号をお書きください)				
E-mail					

◆ NO.1～17を受講される場合は、各受講料の他に3,000円の年会費が必要となります。
(NO.18～22のみを受講される場合は、年会費は必要ありません。)

※オンライン可の講義を
自宅受講される方は○
をつけてください。

◆ 受講を希望する講座Noと受講料（早割適用の場合は早割の受講料）に○をつけてください。

種別	番号	講義名	講師名	受講料	受講料 (早割)	早割締切日	オンライン 自宅受講	事務局記入欄		
								受領日	担当	データ
東方学院松江校	1	歴史に学ぶということ！—その深さと厳しさ—	藤島 建樹	¥25,000	¥24,000	4月3日				
	2	キリスト教世界の歴史と思想 2021	笠原 愛古	¥13,000	¥12,000	4月17日				
	3	『無量寿経』・『観無量寿経』を読む	齊藤 舜健	¥20,200	¥19,200	4月23日				
	4	出雲学概論	藤岡 大拙	¥10,600	¥9,600	5月5日				
	5	入門 日本の仏像	的野 克之	¥10,600	¥9,600	5月7日				
	6	中村元『ブッタの生涯』講読	清水谷善暁	¥10,600	¥9,600	5月13日				
	7	ラフカディオ・ハーンの怪談再考—「耳なし芳一」「雪女」を中心に—	横山 純子	¥10,600	¥9,600	5月23日				
	8	〔絵本〕で読む「大丈夫」という物語～「終末期医療」と「仏教」～	岡 宏	¥13,000	¥12,000	9月15日				
	9	聖徳太子という歴史情報	保坂 俊司	¥9,000	¥8,000	7月24日				
	10	身心を観察する—仏教瞑想の歴史的展開	蓑輪 顕量	¥9,000	¥8,000	7月25日				
	11	稲荷信仰と神仏習合	加藤みち子	¥9,000	¥8,000	8月9日				
	12	日本における「般若経」の受容とその歴史的展開	渡辺 章悟	¥9,000	¥8,000	9月11日				
	13	やさしい英語で『歎異抄』を読む	田中ケネス	¥5,000	¥4,000	9月25日				
	14	華嚴仏教入門	竹村 牧男	¥9,000	¥8,000	10月18日				
	15	仏教聖典へのいざない	釈 悟震	¥9,000	¥8,000	10月24日				
	16	『秘密集会タントラ』に学ぶチベット密教の基本構造	平岡 宏一	¥9,000	¥8,000	11月13日				
	17	特別集中講義「仏伝を味わう—少年時代・結婚・出家」	丸井 浩	¥9,000	¥8,000	2022年3月1日				
受講料合計 (ア)						円				
年会費 (イ)						¥3,000				
東方学院松江校 お支払い合計 (ア) + (イ)						円				—(A)

種別	番号	講義名	講師名	受講料	受講料 (早割)	早割締切日	事務局記入欄			
							受領日	担当	データ	
文化講座	18	初歩から初める仏像彫刻	石賀 善章	¥13,800	¥12,800	4月10日				
	19	コロナとベスト～カミュの『ベスト』とインド哲学	瀬古 康雄	¥10,600	¥9,600	5月1日				
	20	聞香体験 ～伝統芸道香道とは～	大谷香代子	¥10,600	¥9,600	5月6日				
	21	小さき神々と神楽～家守る神・崇る神～	中野 秋鹿	¥4,200	¥3,200	8月22日				
	22	チベット仏教求法僧・能海寛の仏教論文を読む	岡崎 秀紀	¥10,600	¥9,600	10月16日				
中村元記念館文化講座 受講料合計						円				—(B)
お支払い合計 (A)+(B)						円				

《送付先》

〒690-1404 島根県松江市八束町波入2060 中村元記念館

※窓口に提出するか、振込控えのコピー（ご入金を確認できる書類）と一緒に郵送してください。

受付	データ	備考

キ
リ
ト
リ
線

●中村元記念館東洋思想文化研究所研究員募集

中村元記念館東洋思想文化研究所の研究員を募集いたします。当研究所は、中村元記念館に所蔵されている中村元博士の約34,000冊の蔵書・資料を活用して、博士が開拓された学問の道をさらに深く探究し、山陰地域の学術・文化の振興に寄与することを目的とします。

〈活動内容〉

- ・隔年発行予定の当館の研究紀要に研究発表をする。
- ・可能であれば、関連する学会で発表をする。
- ・人文科学分野の研究を振興する。

〈応募資格〉

- ・人文科学分野の修士号を有する方、または修士号と同等の資格（研究業績等）を有する方。
- ・中村元記念館東洋思想文化研究所の理念に賛同し、中村元記念館を支え、発展させていく熱意のある方。

〈応募方法〉

以下の書類を中村元記念館まで郵送してください。採用に当たっては所長による面接を行います。

- ・履歴書（功績書またはそれに準じるものを添付する）
- ・研究課題書
- ・推薦書

〈応募締切〉

毎年度 2月末日

〈待遇〉

- ・当館所蔵の図書・資料を管理者の同意のもとご活用いただけます。
- ・研究助成金等は当分の間支給いたしません。
- ・研究員に対して会費等の徴収をすることはありません。

中村元記念館東洋思想文化研究所

所 長	前 田 專 學
副 所 長	積 悟 震
副 所 長	丸 井 浩
主任研究員	岡 田 真 水
主 事	清 水 谷 善 曉

●中村元記念館ボランティアサポーター募集

中村元記念館では、当館の事業にご協力いただける「ボランティアサポーター」を募集中です。

ご都合のいい時間に、ご自分の持ち味や興味を活かしてボランティアしてみませんか。

詳しくは中村元記念館までお気軽にお問い合わせください。

〈活動内容の例〉

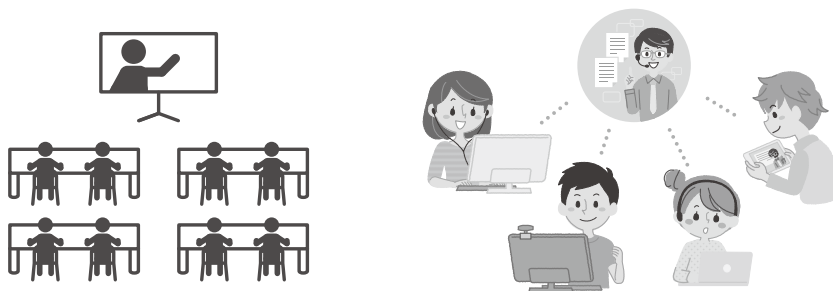
- ・蔵書整理
- ・イベント運営
- ・附属研修施設の環境整備
- ・チラシ等発送業務
- ・語学（翻訳/通訳）



オンライン（ZOOM）講座について

●オンライン講座を受講するには？（①または②よりお選び下さい）

- ①中村元記念館にお越しいただき、プロジェクターに投影した先生と記念館会場を結び、双方向でのコミュニケーションをとりながら受講していただきます。
- ②〈インターネット〉のつながる〈パソコン・スマートフォン・タブレットPC〉などがあれば、どなたでもご自宅からお気軽に受講できます。
→連絡のためにメールアドレス（gmail、yahooなどのフリーメールでも大丈夫です）が必要です。




- ・ ZOOM 〈ズーム〉というソフト（アプリケーション）を使ったオンライン講座です。
- ・ オンライン「初心者の方」には、講義開始前に事務局から細かくサポートいたします。
- ・ 「ZOOMはじめてマニュアル」もご用意しております。
- ・ 本番の授業が始まる前に事務局スタッフと「試運転」もいたします。
- ・ オンライン講座お申込み → メールアドレスにマニュアル・招待状（URL、ID・PW）のご送付 → URLクリックまたは、ID・PW入力してアクセス → 画面を通して授業を受講できます

●オンライン講座の探し方

8, 9 ページ講義一覧「オンライン講義」の欄、各講義案内の講義名の横に  マークが表示されている講座です。


No	講義題目	講師名	回数	オンライン講義	日程	時間	開講日	詳細ページ
1	歴史に学ぶということ！ —その深さと厳しさ—	藤島 建樹	12		2回/月 第2・4土曜日	10:30~12:00	4月10日	10
2	キリスト教世界の歴史と思想 2021	笠原 愛古	6		1回/月 第4土曜日	15:20~16:50 (6回目のみ)	4月24日	11
3	『無量寿経』・『観無量寿経』を読む	齊藤 舜健	12		2回/月 第1・3・5金曜日	13:30~15:00	4月30日	12

オンライン
講座が可能
です

【全6回】／開催方法: 

2 キリスト教世界の歴史と思想 2021

かまはらなるひさ
笠原愛古
中村元記念館東洋思想文化研究所 研究員
中央大学政策文化総合研究所 客員研究員



受講料 会員料金: ¥13,000 早割価格: ¥12,000 (納入期限: 4月17日)

【日 程】【全6回】 1回/月 第4土曜日
(4/24、5/29、6/26、7/24、8/28、9/25)

【時 間】13:30~15:00・15:20~16:50 (6回目のみ)

■受講に必要なもの
[テキスト] レジュメ配布

●オンライン講座（自宅受講）のお申込みの仕方

- ※「受講申込書」のオンライン自宅受講の欄に○を記入して下さい。
- ※お申し込みの方には「具体的な手順や注意事項」をお送りいたします。
- ※オンライン講座に興味はあるけれども、はじめてなので心配であるという方、ご遠慮なく事務局までご相談ください。

（事務局連絡先：メール info@nakamura-hajime-memorialhall.or.jp）
TEL 0852-76-9593, FAX 0852-76-9693

アクセス

飛行機でお越しの方

【米子空港から】車で約15分

【出雲空港から】車で約50分

車でお越しの方

【広島から】車で3時間（中国自動車道三次I.C.経由）

【岡山から】車で2時間15分（岡山自動車道・中国自動車道・米子自動車道）

【松江駅から】車で約25分

【境港駅から】車で約10分

【米子駅から】車で約35分

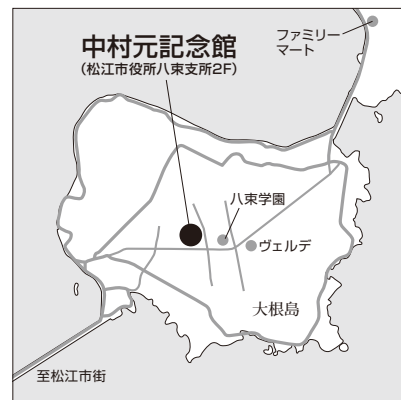
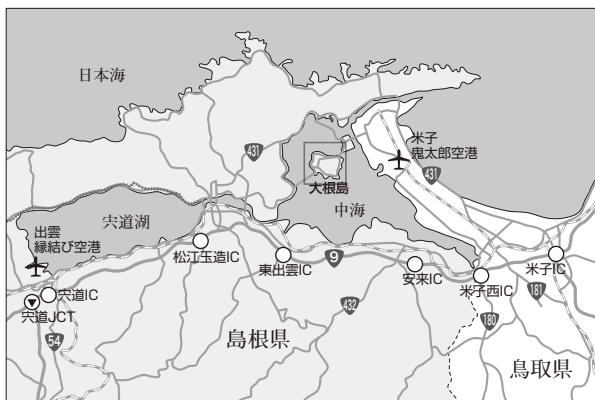
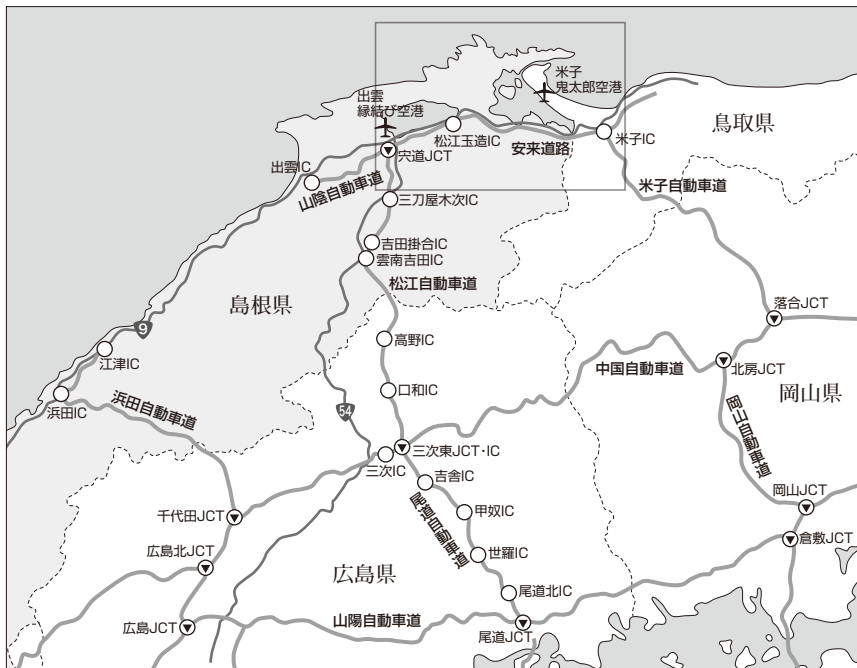
バスでお越しの方

【松江駅から】

- ・松江市営バス「八束町」行で約50分、「八束支所・中村元記念館前」下車
- ・松江境港シャトルバス約25分「由志園」下車のち徒歩約10分

【境港駅から】

- ・八束コミュニティバス約20分「八束町・由志園入口」下車のち徒歩約3分
- ・松江境港シャトルバス約15分、「由志園」下車のち徒歩約10分





2021年3月1日 発行

発行所 特定非営利活動法人中村元記念館東洋思想文化研究所
〒690-1404 島根県松江市八束町波入2060番地 松江市八束支所2F
TEL 0852-76-9593/FAX 0852-76-9693
info@nakamura-hajime-memorialhall.or.jp
<https://www.nakamura-hajime-memorialhall.or.jp/>

¥300(税込)